

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club
2013-2014

会長 田中 雅承 副会長 原田 哲
幹事 樋貝 浩久 副幹事 田中 雅貴
会計 田中 直行 会報 原田 哲

事務所
〒409-3812 山梨県中央市乙黒 158-2
(山梨ビジネスパーク (株)カルク内)
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

ロータリーを实践し



みんなに豊かな人生を

2013～2014 RI 会長 ロンD.バートン
第2620地区 ガバナー 志田 洪顯
例会日・毎週金曜日 12:30～13:30
例会場・(株)カルク (055-273-5344)

Weekly Report

2014年 5月 16日 第1627回例会

本日のプログラム

クラブ訪問アシスタントガバナー
國守 清響 氏

会長挨拶

「人生を楽しむ事が長寿の秘訣」
会長 田中 雅承

「5月5日の鯉のぼりかしわ食べ食べ兄さんと・・・」こんな光景も段々と消えて行く様な時代になり何となく五月の青空にすがすがしく泳ぐ鯉のぼりが貴重な光景にさえ見えてくる気が致します。

ロータリーの友5月号に載てる内科医の塩弘会員の「音楽で延命治療を」を読んで、大夫古い話を思い出したのです。

いつ頃になりますか、当クラブが例会を「アピオ」で行っていた頃の事です。卓話の時間に「音楽によるリラックスゼイション効果」と題して当時日本コロビアの販売担当の方が「音楽による精神治療」が盛んに研究され、その一端を医学大学と共同研究をしているとして「ショパン」、「モーツァルト」、「ベルデイ」の幾つかの曲を試聴しながら説明してくれた事を思い出したのです。

音楽は雰囲気作りに欠かせない。映画やテレビなどのドラマは音楽の効果によって気分が高揚して行く事に気がつき我が身に戻る様

な経験があるかと思えます。

塩 弘会員に寄りますと帝京大学医学部チームが実証研究を行う中で心臓移植をしたマウスは平均7日間で免疫拒絶反応を起こし死んでしまいましたが、1日中ベルディのオペラ「椿姫」やモーツァルトの「セレナーデ」などの音楽を聴かせる事で平均約40日間、最長約100日間と最も長く生存したそうです。

音楽が心身に及ぼす影響力は大きく、ことわざ「病は気から」とよく言われますが、ことわざの正しい事をマウスが証明してくれた結果として記憶しておいて下さい。

音楽は移植されたマウスの心臓が攻撃を受ける拒絶反応、つまり免疫作用を弱めると考えられる事で、「唯の雑音」では良い影響は無かったとの事で名曲の力だと考えられます。

マウスでは無く私達人間ではどうかと言う事になりますと、オペラやピアノ曲等が良く治療に効くのではなく、理想的な曲と言う物はなく本人が心地よくリラックスできる物であるならば、クラシック、演歌、ジャズなどの様な曲で、免疫を高め自身が快適と感じる環境を作る事が肝要で、運動でも、会話でも人生を楽しむ事が長寿の秘訣だと言っています。

我がクラブも会員各位の免疫力を高めるにも大いにおしゃべりを致しましょう。

幹事報告

幹事 樋貝 浩久

1. 次週の例会は國守アシスタントガバナーのクラブ訪問例会と成っておりますので、宜しくお願い致します。
2. 4月30日(水)午後3時より「ふるさとを描く子ども絵画巡回展」の山梨中央銀行本店が終了し、引き続き甲府信用金庫本店ロビーへの展示作業をご苦労様でした。
3. ロータリーの友事務所より「ロータリーの友5月号」が届いておりますので配布致しました。
4. 山梨第3分区國守アシスタントガバナーより山梨第3分区I・Mのご案内が来ておりますので、回覧致します。
5. 例会変更のお知らせ

☆甲府東ロータリークラブ☆

5月9日(金)の例会は「創立25周年リハーサル例会」の為 時間・会場の変更

点 鐘：午前12時

会 場：山梨学院大学

「40周年記念館」

☆甲府南ロータリークラブ☆

5月20日(火)の例会は「創立55周年記念植樹例会」の為 会場の変更

点 鐘：午後12時30分

会 場：富士川地区「悠遊館」

☆甲府西ロータリークラブ☆

5月29日(木)の例会は「例会場の都合」の為 夜間例会を昼例会に変更

点 鐘：午後12時30分

会 場：「古名屋ホテル」

前回の例会記録

第1626回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	9名	2名	80%	4名	100%

届出欠席者 竹野 満君 田中 直行君

届出失念者 なし

出席免除者 なし

メイクアップ 石原 満彦君 田中 雅貴君
小池 章治君 樋貝 浩久君

ビジター なし

備考 なし

ニコニコ BOX

- 卓話をします。 原田 哲
- 前回休みました。 鮎川 一明

< 青少年奉仕委員会 >

「子供に教えるべきこと」

曾野 綾子

作家の曾野綾子先生がエッセイにこの様な話を載せていました。(青少年奉仕委員長 石原)

平成23年から使われる小学校の教科書が、「ゆとり教育」を改めて、内容の多いものになっているという。教育の方針のうち、まず第一に知を取るか、徳を取るかというようなことだと、順番が変わるということはほとんどないはずだが、技術的な教育のやり方は時々変わっても仕方がないだろう。なぜならば、人間は試行錯誤して生きる動物で、むしろ改められるという姿勢によって柔軟に、よいものを取り入れられることが多いからである。

テレビでは子供に意見を聞いて、教科書のページが増えると困る、というようなことを言わせていたが、こんなことに子供の意見を聞く必要はないのだ。子供たちをかわいがり、素質が伸びるように願っている大人たちが知恵を出し合って子供の教育をするのが、教育の基本の形だ。大人と子供、先生と生徒は、決して同等ではない。学問は、平等が原則の民主主義だけでは成り立たない。上下関係にも人間発見の手がかりと意味があると理解させるのが教育だ。(次回へつづく)

次のプログラム 5月23日(金)

クラブ協議会

次年度計画発表